

## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社グリムス 上場取引所 東  
 コード番号 3150 URL <https://www.gremz.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中政臣  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部長 (氏名) 阿部嘉雄 TEL 03-5769-3500  
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月2日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有 機関投資家・アナリスト向け

百万円未満切捨て

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	16,778	5.2	3,372	5.5	3,450	6.8	2,334	7.2
2024年3月期中間期	15,944	0.1	3,197	166.5	3,231	165.8	2,177	179.1

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 2,344百万円 (4.6%) 2024年3月期中間期 2,241百万円 (185.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	101.05	101.01
2024年3月期中間期	94.97	94.30

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	23,626	14,603	61.4
2024年3月期	21,612	12,991	59.7

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 14,509百万円 2024年3月期 12,903百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	15.00	—	32.00	47.00
2025年3月期	—	20.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	37.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	13.7	6,500	24.6	6,570	24.7	4,320	22.0	187.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	23,814,800株	2024年3月期	23,814,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	712,793株	2024年3月期	712,793株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	23,102,007株	2024年3月期中間期	22,929,077株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における経済環境は、企業収益の改善による雇用・所得環境の改善や、設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復しているものの、国際情勢の不安定化による海外景気の下振れリスクや、円安の進行を背景とした物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社グループにつきましては、電力コストの高騰、GX（グリーントランスフォーメーション）の実現に向けた再生可能エネルギーの導入拡大を背景に、事業用太陽光発電システムを成長の主軸として販売を拡大するとともに、電力小売については、大手電力会社の規制料金改定に伴い、低圧電力の新プラン（バリュープラン・シンプルプラン）を導入したほか、低圧電力における独自燃調（電力市場調達コストの一部を電気代に反映する仕組み）の運用や高圧電力における市場価格連動型契約の促進による電力調達価格変動リスクの低減といった取り組みをいたしました。また、安定的な需要があるコスト削減・省エネルギー・再生可能エネルギー関連の商品・サービスについては、事業者向け・一般消費者向けのいずれも受注は順調に推移いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高は16,778百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は3,372百万円（前年同期比5.5%増）、経常利益は3,450百万円（前年同期比6.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,334百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

事業別の状況は、以下のとおりであります。

#### 〔エネルギーコストソリューション事業〕

エネルギーコストソリューション事業につきましては、電力の自家消費を提案する事業用太陽光発電システムを主力商材とし、また、事業者のコスト削減のための電力基本料金削減コンサルティングやIoT機器、省エネルギー化のための業務用エアコン・トランスなどの各種省エネ設備を販売し、顧客に電力の運用改善・設備改善などの提案をしております。

その結果、売上高は4,914百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は2,143百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

#### 〔スマートハウスプロジェクト事業〕

スマートハウスプロジェクト事業につきましては、脱炭素による再生可能エネルギーへの関心の高まりや、太陽光発電の10年間の固定価格買取制度の適用が終わる卒FIT案件の増加といった市場環境、住宅のエネルギーレジリエンス強化へのニーズにより蓄電池への需要があることから、蓄電池の販売を推進いたしました。

その結果、売上高は2,234百万円（前年同期比11.5%減）、セグメント利益は260百万円（前年同期比41.4%減）となりました。

#### 〔小売電気事業〕

小売電気事業につきましては、電力販売量の増加、電力市場価格上昇の影響による販売単価の上昇、相対電源の確保等のリスクヘッジ施策による調達価格の抑制等により、売上高・利益ともに増加いたしました。

その結果、売上高は9,629百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益は1,406百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は18,890百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,976百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が691百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,468百万円増加した一方、未収消費税等が182百万円減少したことによるものです。固定資産は4,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が100百万円、敷金及び保証金が99百万円増加した一方、機械及び装置が33百万円、ソフトウェアが26百万円、繰延税金資産が99百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は23,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,014百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は6,570百万円となり、前連結会計年度末に比べ760百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が980百万円、賞与引当金が166百万円増加した一方、未払金が366百万円減少したことによるものです。固定負債は2,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ357百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が363百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は9,023百万円となり、前連結会計年度末に比べ402百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は14,603百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,611百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に係る中間包括利益により2,344百万円増加した一方、剰余金の配当により739百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,474,017	11,165,953
受取手形、売掛金及び契約資産	3,635,167	5,104,064
商品	2,476,369	2,412,549
前払費用	147,554	121,568
未収還付法人税等	827	—
未収消費税等	182,795	—
その他	54,797	146,628
貸倒引当金	△58,041	△60,653
流動資産合計	16,913,486	18,890,110
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	79,761	73,511
機械及び装置（純額）	1,052,295	1,018,987
車両運搬具（純額）	20,599	17,460
工具、器具及び備品（純額）	60,923	51,567
土地	123,877	123,877
建設仮勘定	12,606	13,520
有形固定資産合計	1,350,064	1,298,924
無形固定資産		
ソフトウェア	208,718	182,405
ソフトウェア仮勘定	—	14,300
無形固定資産合計	208,718	196,705
投資その他の資産		
投資有価証券	2,378,814	2,479,672
繰延税金資産	330,767	230,988
敷金及び保証金	381,219	481,160
その他	49,337	49,141
投資その他の資産合計	3,140,138	3,240,963
固定資産合計	4,698,921	4,736,593
資産合計	21,612,408	23,626,703

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,143,052	3,123,947
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,192,190	1,232,050
未払金	953,782	587,149
未払法人税等	1,080,144	1,039,880
未払消費税等	249,175	332,430
契約負債	63,174	61,609
預り金	27,875	22,391
賞与引当金	—	166,998
その他	807	4,342
流動負債合計	5,810,201	6,570,799
固定負債		
長期借入金	2,472,809	2,109,609
資産除去債務	79,105	78,725
その他	258,613	264,353
固定負債合計	2,810,527	2,452,687
負債合計	8,620,729	9,023,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	708,306	708,306
資本剰余金	446,919	446,919
利益剰余金	12,246,603	13,841,732
自己株式	△482,470	△482,470
株主資本合計	12,919,359	14,514,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,486	△14,557
繰延ヘッジ損益	—	9,348
その他の包括利益累計額合計	△15,486	△5,208
新株予約権	87,806	93,936
純資産合計	12,991,679	14,603,216
負債純資産合計	21,612,408	23,626,703

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	15,944,776	16,778,468
売上原価	10,821,403	11,156,766
売上総利益	5,123,373	5,621,701
販売費及び一般管理費	1,925,846	2,249,126
営業利益	3,197,527	3,372,575
営業外収益		
受取利息	37	851
受取配当金	20,771	57,298
受取手数料	5,571	13,709
受取保険金	9,595	6,632
その他	4,378	12,024
営業外収益合計	40,354	90,518
営業外費用		
支払利息	5,954	7,863
減価償却費	—	3,075
その他	98	2,035
営業外費用合計	6,052	12,974
経常利益	3,231,829	3,450,118
特別利益		
固定資産売却益	29	19
特別利益合計	29	19
特別損失		
固定資産除却損	1,779	1,586
固定資産売却損	640	1,255
特別損失合計	2,420	2,842
税金等調整前中間純利益	3,229,439	3,447,296
法人税、住民税及び事業税	1,059,898	1,017,422
法人税等調整額	△7,990	95,481
法人税等合計	1,051,908	1,112,903
中間純利益	2,177,530	2,334,392
親会社株主に帰属する中間純利益	2,177,530	2,334,392

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	2,177,530	2,334,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,187	929
繰延ヘッジ損益	66,367	9,348
その他の包括利益合計	64,179	10,278
中間包括利益	2,241,710	2,344,671
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,241,710	2,344,671

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	3,229,439	3,447,296
減価償却費	92,492	98,477
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△933	2,612
賞与引当金の増減額 (△は減少)	121,842	166,998
株式報酬費用	10,030	6,129
受取利息及び受取配当金	△20,808	△58,150
支払利息	5,954	7,863
固定資産除売却損益 (△は益)	2,390	2,822
売上債権の増減額 (△は増加)	△93,009	△1,468,896
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△391,539	63,819
未収消費税等の増減額 (△は増加)	3,651	182,795
仕入債務の増減額 (△は減少)	779,839	980,895
未払金の増減額 (△は減少)	△358,372	△329,796
未払消費税等の増減額 (△は減少)	120,321	83,023
その他	197,012	△52,177
小計	3,698,308	3,133,712
利息及び配当金の受取額	20,808	58,150
利息の支払額	△5,815	△7,845
法人税等の支払額	△629,402	△1,064,820
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,083,899	2,119,196
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,700,000	△200,000
投資有価証券の売却による収入	500,482	100,482
有形固定資産の取得による支出	△32,810	△31,038
無形固定資産の取得による支出	△22,732	△14,424
敷金及び保証金の差入による支出	△100,181	△100,034
敷金及び保証金の回収による収入	96	93
その他	45	△19,955
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,355,099	△264,877
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△465,162	△623,340
株式の発行による収入	76,360	—
自己株式の取得による支出	△75	—
配当金の支払額	△389,471	△739,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	△778,349	△1,162,382
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	950,449	691,936
現金及び現金同等物の期首残高	8,224,617	10,474,017
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,175,067	11,165,953

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となりますが、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	エネルギーコストソリューション事業	スマートハウスプロジェクト事業	小売電気事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,390,437	2,523,982	9,030,357	15,944,776
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,390,437	2,523,982	9,030,357	15,944,776
セグメント利益	1,940,286	444,416	1,133,638	3,518,341

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,518,341
全社費用(注)	△320,814
中間連結損益計算書の営業利益	3,197,527

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	エネルギーコストソリューション事業	スマートハウスプロジェクト事業	小売電気事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,914,327	2,234,578	9,629,562	16,778,468
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,914,327	2,234,578	9,629,562	16,778,468
セグメント利益	2,143,806	260,553	1,406,277	3,810,636

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,810,636
全社費用(注)	△438,061
中間連結損益計算書の営業利益	3,372,575

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。